

かんようく

月日点

意味に合うように、（ ）に体の部分の漢字を一字書きましょう。

目 耳 口 鼻 手 足 首 顔 歯

- ① （ ）が高い … とくいになる。
- ② （ ）を長くする … 今か今かと待つ。
- ③ （ ）が広い … 知り合いが多い。
- ④ （ ）が軽い … ひみつをすぐ話す。
- ⑤ （ ）を焼く … あつかいにこまる。
- ⑥ （ ）が早い … うわさを知るのが早い。
- ⑦ （ ）をひっぱる … 人のじゃまをする。
- ⑧ （ ）が立たない … 強くてかなわない。
- ⑨ （ ）をまるくする … とてもおどろく。
- ⑩ （ ）を運ぶ … わざわざ出かけていく。

上の口の字は、同じ字を二度使うこともあります。

かんようく

こたえ

意味に合うように、（ ）に体の部分の漢字を一字書きましょう。

目 耳 口 鼻 手 足 首 顔 歯

- ① （ ）が高い … とくいになる。
- ② （ ）を長くする … 今か今かと待つ。
- ③ （ ）が広い … 知り合いが多い。
- ④ （ ）が軽い … ひみつをすぐ話す。
- ⑤ （ ）を焼く … あつかいにこまる。
- ⑥ （ ）が早い … うわさを知るのが早い。
- ⑦ （ ）をひっぱる … 人のじゃまをする。
- ⑧ （ ）が立たない … 強くてかなわない。
- ⑨ （ ）をまるくする … とてもおどろく。
- ⑩ （ ）を運ぶ … わざわざ出かけていく。

鼻

首

顔

口

手

耳

足

歯

目

足

上の口の字は、同じ字を二度使うこともあります。

かんようく

月 日

点

かんようくの意味を、上の□のア～エから選んで記号で書きましょう。

- ア 気が合って、なかよくできる。
 イ 仕事のとちゅうで、むだ話をしてなまける。
 ウ 見こみがないと、あきらめる。
 エ 自由に、のびのびとする。

① さじを投げる

② 馬が合う

③ 羽をのばす

④ 油を売る

- ア 調子にのって、いい気になる。
 イ すぎたことを、なかったことにする。
 ウ 場所がとてもせまい。
 エ ほんの少ししかない。

⑤ ねこのひたい

⑥ すずめのなみだ

⑦ 水に流す

⑧ 図にのる

かんようくは、言葉どおりでない意味を表します（頭をかかえる＝こまる）。

かんようく

こたえ

かんようくの意味を、上の□のア～エから選んで記号で書きましょう。

- ア 気が合って、なかよくできる。
 イ 仕事のとちゅうで、むだ話をしてなまける。
 ウ 見こみがないと、あきらめる。
 エ 自由に、のびのびとする。

① さじを投げる

ウ

② 馬が合う

ア

③ 羽をのばす

エ

④ 油を売る

イ

- ア 調子にのって、いい気になる。
 イ すぎたことを、なかったことにする。
 ウ 場所がとてもせまい。
 エ ほんの少ししかない。

⑤ ねこのひたい

ウ

⑥ すずめのなみだ

エ

⑦ 水に流す

イ

⑧ 図にのる

ア

かんようくは、言葉どおりでない意味を表します（頭をかかえる＝こまる）。

かんようく

月 日

点

() に合うかんようくを、上の□から選んで書きましょう。

手をかした 朝飯前 気が合う 耳にたこができる
花がさいた 目がない 首をかしげた 気を落とした

① 同じ話ばかりで、() ほどだ。

② 父は、あまいものに () 。

③ こんな問題は () だ。

④ ふしぎな話に、みんな () 。

⑤ 重い荷物を運ぶ友だちに () 。

⑥ しあいに負けて、兄は () 。

⑦ 昔の友だちと、話に () 。

⑧ けんたとは () ので、いつも遊ぶ。

選んだかんようくを () に入れて、文を声に出して読んでたしかめましょう。

かんようく

こたえ

() に合うかんようくを、上の□から選んで書きましょう。

手をかした 朝飯前 気が合う 耳にたこができる
花がさいた 目がない 首をかしげた 気を落とした

① 同じ話ばかりで、() ほどだ。

耳にたこができる

② 父は、あまいものに()。

目がない

③ こんな問題は() だ。

朝飯前

④ ふしぎな話に、みんな()。

首をかしげた

⑤ 重い荷物を運ぶ友だちに()。

手をかした

⑥ しあいに負けて、兄は()。

気を落とした

⑦ 昔の友だちと、話に()。

花がさいた

⑧ けんたとは() ので、いつも遊ぶ。

気が合う

選んだかんようくを()に入れて、文を声に出して読んでたしかめましょう。